

年末年始食べる機会が増えますね。ゆっくり上手に食べましょう!

今年も残すところ僅かとなりました。一年間ありがとうございました。

コロナに始まり、コロナで終わりそうな一年でした。

食べるためのお口ケアから感染予防のためのお口のケアへとケアの大変さをあらためて感じました。

年末年始は食べる機会が何かと増えるものです。

食べる時にも準備は必要です。少量づつ、よく噛んで、ゆっくりと飲み込みましょう。

そうすることで、むせたり、詰まらせることも減ります。

何より美味しさをたくさんかんじることができますよ。

来る年がみなさまにとって良いお年となるようお祈りいたします。

私たちは、みなさまと一緒にお口の健康のお手伝いをさせていただきます！

※資料出典(株)大塚製薬工場

1 食べる前の確認

しっかりと食べるための準備を整えることで、より安全に食べることができます。

【準備】

■体操をしましよう

全力で10秒程度口を開け続けるのを数回繰り返してみましょう。口の周りの筋肉を刺激することで、食べる力が向上します。簡単な運動で筋肉を刺激できるので、おすすめします。



チェック！

- 食べる前に肋骨の間の筋肉を伸ばし、深呼吸しましょう。
- 口腔内をきれいにしましたか？
- 姿勢は整っていますか？
- 食品は、食べやすい（飲み込みやすい）ですか？
- 食べることに集中できる環境ですか？

2 食べる時のポイント

食事の始めから終わりまで、安心できるように心がけましょう。また、食べる物が目立つように使う食器の色を工夫しましょう。

■食べる前に

チェック！

- 食事をすることを認識していますか？
(料理を認識しているか？しっかり覚醒しているか？を確認)
- 周りに気が散るはありませんか？
(テレビがついている。服などの模様が視界に入る。など)

■食べながら

チェック！

- 頭が上がりませんか？
- 姿勢が崩れませんか？

■食べ終わってから

チェック！

- 口の中に食事が残っていませんか？

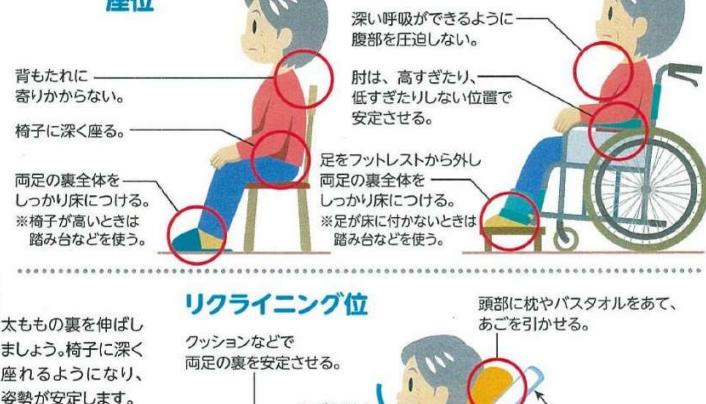
■ステップアップをしましょう！

段階的な訓練の流れ(例)

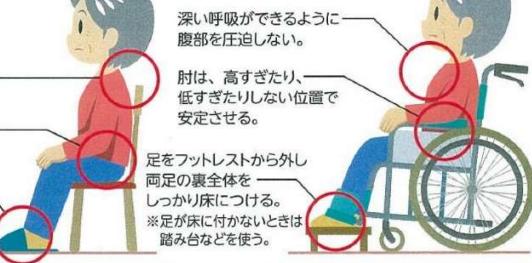
- ミキサー食／粒なしお粥(食事) **ステップ3**
誤嚥や肺炎の兆候が1週間程度なければ、徐々に食事の量を増やしましょう。
- ろみ水／スープ(飲料) **ステップ2**
朝食または昼食のときに、1日1回のペースで食事をとりましょう。
(介護者の観察の元、ペースト状の食事も可能です。)
- ゼリー **ステップ1**
少量のゼリーなどから始めます。(1日1~2回を目安)
むせ、痰の増加、発熱、がらがら声などがなければステップアップをしましょう。

【姿勢】

座位



車いす座位



リクライニング位



事前に医師・歯科医師に相談の上、食事を開始してください。



もしも… ■のどにつまらせてしまったら…、
むせてしまったら…、

■むせてしまったら…、



サクサクテスト

咀嚼機能を簡便にチェックする方法として「サクサクテスト」があります。4cm程度のソフト米菓を用い、食べている時の頸が上下だけでなく、下頸が回転するような動きができるていれば、うまく咀嚼できていると判断されます。また、頸の動きが良ければ嚥下機能も優れていることが多いようです。

Tagashira I, Tohara H. et al: Archives of Gerontology and Geriatrics. 2018; 74: 106-111.

訪問歯科診療で
食べられる歯を
笑えるお口を

訪問歯科診療は各種保険適用です

東京都足立区竹の塚3-5-5
医療法人社団幸望会 ハーモニー歯科
電話 03(5851)7640

